

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：つくし保育園センター南	種別：認可保育所	
代表者氏名：河野 季香	定員（利用人数）：70名	
所在地：〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央49-10		
TEL：045-482-6011	ホームページ： http://tsukushihoikuen.org/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2013年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人秀峰会		
職員数	常勤職員：14名	非常勤職員：8名
専門職員	（専門職の名称）	名
	保育士 19名	看護師 1名
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室 2室	調理室
	調乳室 1室	
	保育室 1室	
	事務室 1室	

③理念・基本方針

<保育理念>

- 自分で生きてゆく力を養う（自律）
- 人と協調して生きる力を養う（社会性）
- 美しさを感じる感性を養う（センスオブワンダー）

<保育方針>

- 受容された安全な環境の中で、主体的な活動を楽しみます。
- 人に対する愛情や信頼感をもとに思いやりの心を育みます。
- 子ども同士の遊びを通して生きる力を育みます。
- 自然や文化に触れながら、豊かな感性を養い子どもの夢を育てます。
- 保護者の方と話し合いながら共に考え、共に成長を見つめていきます。

④施設・事業所の特徴的な取組

●つくし保育園センター南はブルーライン若しくはグリーンラインセンター南駅から徒歩約3分と駅からも近く、利便性の優れた場所にあります。センター南は、港北ニュータウン第2地区のほぼ中央に位置し、シンボル広場・駅前広場を結びつける回遊性のある街づくりが成され、車道は駅の下を通し、歩道と分離されており、駅から住宅エリアへは幹線道路を渡らずにペDESTリアンデッキを使って移動できます。また、エレベーターも多く設置されており、ベビーカーを押しながらも安心して歩くことができ、車利便と歩行者の安心を両立させた快適に暮らせる街作りがされています。また、横浜市指定史跡の茅ヶ崎城址公園や、緑豊かな都筑中央公園をはじめ、数多くの公園も点在しており、伸び伸びと子育てが行えるのもこの街の特徴です。

●つくし保育園センター南の経営母体は社会福祉法人秀峰会（以下、法人という）であり、介護・医療・保育等の福祉サービスを包括的、統合的に事業活動を行い、地域社会の一員の思いを持ち、「その人がその人らしく生きること」、地域の人々とともに地域の人々のために、の願いを、福祉を通して社会に貢献しています。「つくし保育園」は神奈川県に4園あり、統一したテーマとして、「つくしのように強く、たくましく」を掲げ、子どもに対して、様々な体験を仲間と一緒に楽しみながら生きる力の基礎を育み、職員は子どもたちの持つ成長する力、生きる力を信じ、十分な愛情で見守る保育を実践しています。

●つくし保育園センター南は平成25年に開園し現在、定員70名、在席児童77名の園児を預かっています。園は高架下にあり、改札を出た左手のエスカレーターで1階に降りたほぼ正面にあり、雨に濡れずに登園することが可能です。園舎は平屋建てで奥行きのある造りになっており、玄関やエントランスホールには良質な木材がふんだんに使用され、園内に入ると木の温もりを感じることができます。玄関を入るとすぐ左側に事務室があり、送迎時の保護者・子どもの様子をガラス越しに見ることができます。エントランスホールを抜けると奥行きのある2歳～5歳児の保育室スペースがあり、手前から順に2歳、3歳、5歳児の保育スペースに分けて使用しています。0歳、1歳児の保育室は2歳～5歳児の保育室スペースの右側に設けられ、独立した保育室を確保しています。全体的な計画では、保育所保育指針に準拠して、養護（保育士が行う事項）、教育（園児が環境に関わって経験する事項）の一体的な展開を図りつつ、これまでの保育に「教育・保育において育みたい資質・能力の3本の柱」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目」を意識して組み込み、保育の展開に努めています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年 8月 22日（契約日）～ 2020年 4月 27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2015年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 【法人の『羅針盤』に基づいた理念等の徹底】

●法人において、活動テーマ、法人理念、倫理、職員心得等を「羅針盤」として正規職員に配布し、組織の一員としての自覚を持って保育に当たり、全職員が思いやりのこもった対応でサービスの提供に努めています。人に対する愛情や信頼感を基に、職員一人ひとりが相手の立場に立ち、思いやりの心で接するよう法人の方針を徹底し、業務に当たっています。

2. 【周辺環境を生かした園外活動保育】

●都筑区には、緑豊かな都筑中央公園をはじめ、数多くの公園が街中に点在しており、積極的に園外活動を取り入れた保育を実践しています。園の近くには、「空堀」・「郭」・「土塁」などの遺構が数多く残っていることから横浜市指定史跡に指定された茅ヶ崎城址公園、緑豊かな都筑中央公園をはじめ、数多くの公園園を活用することができ、歴史や自然に触れる機会を多く設けることで、子どもたちの豊かな想像力や感性、五感を育み、伸び伸びと育める環境生かす保育が展開できることは園のメリットでもあります。

3. 【食育について】

●つくし保育園センター南では、食育において畑活動を行い、種・苗を植え、栽培し、収穫をする過程をプランターや畑を借りて都会にいながら土いじりを交えながら食育活動を行っています。食への関心を高める取り組みとして、センター園の茅ヶ崎南保育園と合同で芋掘りに行き、土に触れ、食材を見る・触る、収穫する喜びを味わい、秋には「秋刀魚まつり」を行い、年長児には秋刀魚の生の姿から焼き上がるまでの過程、匂い・秋の味覚等を味わい、魚の食べ方も学ぶ機会を設けています。また、命に感謝して食事をすることも学ぶ機会にしています。

◇改善を求められる点

1. 【中堅職員の育成について】

●新人職員が育ち、安定してきた園においては、定着の取り組みに力を入れ、中堅職員の強化を図ることが必要になってきます。新人職員であれば目の前にある仕事をきちんとこなしていくことが成長の第一歩でしたが、中堅職員になるとその先まで見据えた行動が必要であり、園全体の円滑な業務の中核となり、牽引する立場となる自覚と責任が求められます。管理職と新人等との間に立って調整・育成する立場と、個人の業務も高く維持することが求められていることの自覚を促すこともキャリアを積むための方法です。階級等の制度を理解していてもキャリアアップの方法は掴みにくいので、成長できる知識、環境を提供し、スキルアップを図る後押しを行い、役割意識と成長実感の2つの側面から育成を期待しております。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 社会福祉法人秀峰会 つくし保育園センター南
施設長名 河野 季香

《第三者評価を受審した感想》

開園して7年目となり、自園の保育の特徴が出来上がりつつあるかなと感じている反面、課題も見えてきたところでの受審となり、保育を振り返るいい機会になったと感じている。

自己評価にあっては中堅職員を中心にまとめを進めてもらい、日常の保育で手一杯となり中々保育の振り返りを見える形にまとめることができないままであったので、この作業を通して自分たちの保育の強みと弱みを知ることができたと思う。

まだまだ未熟なところは多いが、保護者と子どもに寄り添って行きたいという思いは職員一同でしっかりと共有することができていることがわかったので、今回の評価にあたって見えてきた課題、保育の中での弱みといった点を解決できるように取り組んで行きたい。そして利用者のみならず、地域に開いた保育園としての実践を積み上げていきたいと思う。

《評価後取り組んだ事として》

1. 余裕のある職員体制が組める新卒採用のみならず、経験者採用にも力を入れて取り組んだことにより新年度の職員体制の確保ができ、保育計画の立案に例年より早い時期から始めることができた。
2. 課題であった子育て支援事業の担当者を新年度より配置して広報活動など進めていくことになった。（現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止ということで事業はお休みとなってしまった）
3. 新たにリーダー会議を取り入れ、中堅職員の育成に取り組む。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり